



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>

聖母病院のニューフェイス



◆ 理 念 ◆

愛をもって病める人を癒されたキリストになり、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみます。

◆ 基本方針 ◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆ 患者様の権利と責務 ◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

◆ 患者様へのお願い(責務) ◆

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

しかし、今キリストは死者の中から復活され、眠りに就いていた人たちの初穂となられました。一人の人間を通して死はやってきたのですから、また、一人の人間を通して死者の復活もやってくるのです。
(一コリント15:20~21)

But as it is, Christ is now raised from the dead, the first fruits of those who have fallen asleep.
Death came through a man; hence the resurrection of the dead comes through a man also.
(1 Cor15:20-21)

頼っていただける病院となるために

病院長 宮越 敬



4年余り続いた新型コロナウイルスによるパンデミックもようやく収束しつつあります。昨年の5類移行後、一時的な感染者増となりましたが病院機能は停滞せず、患者総合支援部の始動や面会緩和など受診される方・ご家族のニーズに応える取り組みを進めました。また、企業・行政と協働した「健康づくりイベント」も開始しました。昨年は、まさに職員一人一人がコロナ禍から抜け出すために試行錯誤した一年でした。

多くの方から「お産なら聖母だね」との声を頂きます。コロナ禍を経て、無痛分娩の24時間提供体制、産後ケア、メンタルヘルスサポートの体制も整いました。出産・育児そして子どもの病気・健康のことはぜひ私たちにお任せください。また、少子高齢化ともない当院の役割も変わりつつあります。母子医療や地域救急医療に加え、近年では

訪問診療・緩和ケアを中心とした高齢者医療の充実を図っております。本年はクリニックのみならず急性期基幹病院との連絡も密にし、一人でも多くの方が療養可能な医療環境を整備します。そして、最も大切なことは皆様に安心いただくことです。地域の方々から「新宿には聖母があるから大丈夫」といつていただけるよう一歩一歩前進します。

本年度、「文化の継承と変革」を目標に掲げました。病院理念「寄り添いのケア」を継承しつつ、時代に即した変革も必要です。皆様の声から学ぶことも少なくありません。お気づきの点がございましたら、是非、ご意見をお寄せください。どうぞよろしく願いいたします。

173号の内容

頼っていただける病院となるために……	1	聖母病院創立物語 第9回……	3
総合診療科通信 第4回……	2	着任医師紹介……	3
眼科通信 第4回……	2	外来診察表……	4

EBM (Evidence-Based Medicine)

総合診療科 部長 南郷栄秀

医療の現場では、医療者は過去の経験を活かしながら、患者さんの診療に最善を尽くしています。成功した治療からは自信を、失敗からは教訓を得ることで、次の患者さんにさらに良い診療を提供するべく努力しています。しかし、医療者が個人の経験だけに頼っているには限界があります。世界中の医療データや研究成果を共有し活用することができれば、もっと質の高い医療が目指せるはずです。

このような考えのもとに1991年に提唱されたのが「EBM(Evidence-based Medicine、根拠に基づいた医療)」です。EBMの目的は、現時点で利用可能な最も信頼性の高い情報(=エビデンス、科学的根拠)を基にして、目の前の患者さんにとって最善の治療を選択し、実施することにあります。

ただし、エビデンスがあるからといって、必ずそれに従わなければならないわけではありません。ときに、EBMは臨床経験や患者さん個人の価値観を無視するものだ、といった誤った主張が聞かれるのは、「Evidence-based」

という言葉が、あたかもエビデンスだけを重視しているかのような印象を与えるせいかもしれません。

EBMの肝は、集めた情報を患者さんへどのように適用するかにあります。患者さんの病状や抱えている困りごととはさまざまですから、一つの治療法が全ての患者さんに適しているわけではありません。標準治療とされているから実施しなければならない、診療ガイドラインで推奨されているから実施すればよい、という単純なものではないのです。一人ひとりの患者さんについて、検討している医療行為自体に本当に意味があるのか、その患者さんにとって大きな治療効果が期待できるのか、あるいは、残念ながら微々たる効果しかないのかといったことを確認したうえで、実際にその医療行為を行うかどうかを判断します。そのためには、エビデンスだけでなく、患者さんの病状や現場の置かれた環境、患者さんの価値観やご意向、医療者の経験をバランスよく考慮する必要があります。

EBMが正しく理解され、広く活用されれば、医療の質を高めることに繋がります。これからは、エビデンスをコミュニケーションツールとして、患者さんと医療者が共に意思決定をしていく「共有意思決定」の考え方が重要です。私たち総合診療科のスタッフ一同、EBMを正しく実践し、患者さん一人ひとりにとって最良の医療の実現に向け、より一層力を尽くしてまいります。

定期的な眼底検査を 受けましょう

眼科 戸ヶ崎英理奈

目の病気には、緑内障や糖尿病網膜症のような症状がある程度進行するまで自覚症状に乏しい病気もあり、これらの疾患を放置しておくとうつ気付いた時にはかなり病状が進行していることもあります。しかし、定期健診のうち法律で定められた目の検査は、視力検査だけです。視力が良好でも目が健康とは限りません。

眼底検査には、瞳孔を広げるお薬を使って眼科医が直接眼底を観察する方法、または眼底カメラで撮影する方法などがあります。これらの方法で眼の神経や血管、網膜などの異常を調べる検査で、以下のような病気を見つけることができます。

○緑内障

目の神経が障害される病気で、病気が進むにつれて視野のかけが起ります。日本人の失明原因の第一ですが進行するまで無症状のことが多いです。眼底検査では症状が出る前から視神経乳頭陥凹拡大や乳頭出血などの変化が現れるため早期発見に繋がります。

○高血圧や動脈硬化の影響、糖尿病網膜症の有無

眼の網膜の血管はとても細いので高血圧や動脈硬化による影響を受けやすいです。また、眼底は、体の外側から血管を直接見ることができる唯一の場所です。動脈硬化が進行すると交差現象と言って固くなった動脈が静脈を圧迫している所見や血圧が高いと網膜に出血などが見られたりします。

また糖尿病についても血管がポロポロになってしまう病気のため出血や白斑という所見が見られたり網膜の浮腫みが見られることもあります。

○網膜症疾患

網膜症前膜(黄斑上膜)や加齢性黄斑変性などの疾患の有無についても検査することができます。

眼底には目や身体の病気を発見するための情報(所見)が詰まっています。自覚症状がない人もこの機会に眼底検査を受けて、病気の早期発見に努め目の健康を守りましょう。



*眼底検査を行うときは散瞳薬という特殊な薬を使用するため、薬の効果が持続する5-6時間は眩しさや細かい文字が見えにくさが起ります。ご自身の運転は危険なので公共交通機関などのご使用をお勧めしております。

難航した建設用地選定

小児科 部長 猪野雅孝

マリアの宣教師フランシスコ修道会(FMM)のM.クリゾストム管区長は東京に到着した1928年(昭和3年)5月2日から一週間で、戸塚文卿神父とシャンボン大司教の案内で病院候補地を数か所見て回りました。病院の創立のみならず、麻布のカトリック婦人会「聖心聖マルグリット会」が経営していた老人ホーム「恵老院」の事業を継承するという、二つの事業を同時に遂行するのにふさわしい土地を選定する必要がありました。そして、病院としての理想像、資金面の問題、東京修道院の創設などの課題が絡み合い、土地の選定は難航しました。シャンボン大司教は下落合の土地(五千坪)を提案していましたが、戸塚神父は交通の便が良い栄えた場所を提案しました。戸塚神父は5月10日に聖坂(港区三田)の土地(三千坪強で35~36万円)、5月18日に渋谷の西郷従道侯爵邸分譲地(渋谷区南平台町)に足を運び、下落合の土地よりもこちらを望みました。

1928年(昭和3年)5月25日の手紙：

戸塚神父より札幌滞在中の管区長へ

「シャンボン大司教が(FMM)会長に提案した土地(下落合)は検討の余地があります。山本(信次郎)氏に相談してみてもいかがでしょうか。病院の繁栄は場所、設備、医師、看護婦によりますが、そのうち『場所』だけは後で変更できないのですからよく検討する必要があります。つまり、静かで環境が良く、コミュニケーションが容易に取れる主要交通網の近くにある場所がいいと思います。このような土地は坪120円から150円はするでしょう。それでも、落合の土地を(坪48円で)5千坪購入するよりは、狭く小さくても街の土地から始める方がよいと思います。」

6月1日に管区長はFMM会長から、「5千坪の土地購入を許

「青柳ヶ原」と呼ばれていた下落合の国際聖母病院建設地



可する」との電報を受け取りました。その後、M.クリゾストム管区長とシャンボン大司教と戸塚神父との間で、頻繁に手紙のやり取りが行われました。

6月1日の手紙：管区長より戸塚神父へ

「本会(FMM)は(三田や渋谷などの)街に土地を購入する大きな出資はできないと思います。私共が気に入っているあの(下落合の)土地は発展性があるように思います。長い家並みの街路とバス路線がありますから。」

6月5日の手紙：大司教より管区長へ

「戸塚師の考えは基本的にその通りですが、5千坪の土地を購入すれば、利点がたくさんあります。2つの事業とも同じ敷地に建てられるし、将来事業が発展すれば修道女たちはその空き地を自由に使うことができるでしょう。この機会を逃してはいけません。この土地はこの条件に合っています。たぶん一坪48円か50円の安値で購入可能。」

この手紙を受け取ると、管区長は即座に大司教に「落合の土地を確保してくださいようお願いいたします。」と打電しました。戸塚神父は最後まで下落合の土地に反対したままでしたが、こうして今の聖母病院の敷地が購入されることになりました。

着任医師紹介

- ① 出身地 ② 卒業大学、卒業年度 ③ 専門 ④ 聖母病院の印象 ⑤ 今後の抱負 ⑥ 患者さんへ一言



まつだ かおる
松田 薫 医師

- ① 山梨県
- ② 東京女子医科大学 2019年度卒
- ③ 皮膚科
- ④ 挨拶が活発で温かい雰囲気の病院だと思います。
- ⑤ 患者さまの苦痛や不安に寄り添えるよう努力します。
- ⑥ 皮膚についてお困りのことがございましたら、お気軽にご来院ください!



たなか しょうこ
田中 祥子 医師

- ① 千葉県千葉市
- ② 日本医科大学 2014年度卒
- ③ 総合診療科
- ④ 地域に根差し、地域から信頼されている、温かみのある病院
- ⑤ 1日でも早く病院に慣れ、役に立てるように精進していきます。
- ⑥ 体のことだけでなく、生活のことも含めて診療していきたいと考えています。困難なことも一緒に悩んで考えていきたいです。



ほりぐち かなこ
堀口 佳奈子 医師

- ① 北海道
- ② 北海道大学 2020年度卒
- ③ 産婦人科
- ④ 働いている皆さんが熱心かつ親切で、大変温かい病院だと思います。
- ⑤ 様々な経験を通して日々研鑽を積み、少しでも患者さんの不安や悩みを取りのぞける医師になりたいです。
- ⑥ 皆さまのお力になれるよう精いっぱい努めますので、気になることがあればお気軽にご相談下さい。

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性のあることをご承知ください。 (令和6年4.1~)

		月	火	水	木	金	土 (第3週休診)	
内科	午前診療	①	濱松 永昌	宮本 大介	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	小野 真理	市瀬 裕一	東海林英典	東海林英典	小野 真理	市瀬 裕一
		③	宮田 由紀	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休		稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	岡野 真弓	伊藤 直人	佐々木順子	
		⑤	庫川 恵理	宮田 由紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	鈴森知沙季	宮本 大介	砂金 瑛実	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
③		藤井 大輔			宮田 由紀	交代制		
④		交代制				第2.4 藤井大輔		
総合診療科 (院内標榜)	午前			南郷 栄秀				
	午後				南郷 栄秀	田中 祥子		
内視鏡	午前	鈴木辰典(内科) 東海林英典(内科)	松延修一郎(外科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	勝海 愛(内科) 東海林英典(内科)	井上幸紀(外科)	
	午後	東海林英典(内科)	東海林英典(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)		
外科	午前	井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明	
乳腺外科	午前	加藤 昌弘		菊山みずほ	菊山みずほ	甲斐崎祥一	菊山みずほ	
	午後	加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲			甲斐崎祥一		
泌尿器科	午後	勝井 政博			勝井 政博			
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交代制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	増淵 茉侖		第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
	午後		宮本英明 14:00~15:30 (予約のみ)					
産婦人科	午前	初診	兼子 絢華 山内 潤 山内 美和	坂井 健良(8:45~)	堀口佳奈子 増澤 利秀 山内 美和 戸田 里実	増澤 利秀 山内 潤 山内 美和 兼子 絢華	小野あすか(9:30~) 宮越 敬(10:30~) 戸田 里実	宮越 敬 増澤 利秀 戸田 里実(~12:30) 兼子 絢華
		再診						
	午後診療			胎児診断外来/宮越 敬	腫瘍外来/片岡史夫			
小児科	①	江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子	
	②	前田 由美	前田 由美	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美	
	③	山中 聡子	隔月1回 石田 悠(神経)		第3 松井順子(神経) 第3除く 岩丸良子(神経)		第1.5 松井順子	
	④		江崎奈緒子(予防接種)	前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)		
	乳幼児健診		大塚 素子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子		
	1か月健診	猪野 雅孝 前田 由美 江崎奈緒子	大塚 素子 岩丸 良子	猪野 雅孝 山中 聡子	前田 由美 大塚 素子 高橋 美希	岩丸 良子 高橋 美希		
専門外来	新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月検	アレルギー/前田由美 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月回)/衛藤 薫 予約/岩丸良子	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/岩丸良子 予防接種/高橋美希			
精神科		永富めぐみ	永富めぐみ	非常勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ	
耳鼻咽喉科	午前	中川 秀樹	中川 秀樹	横井 秀格	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹	
	専門外来	大石 直樹		第2 斉藤秀行			交代制(慶應大・杏林大)	
眼科	午前	太根 ゆさ 不定期 戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈 河井 明佳	戸ヶ崎英理奈 落合 淳一	海田 千恵 非常勤	第2.4 戸ヶ崎英理奈 非常勤	
	専門外来	特殊予約外来	特殊予約外来	手術	特殊予約外来			
皮膚科	午前	1診	松田 薫	松田 薫	小林 里実	平山愛里彩/松田 薫/交代制	第2.4 小林里実	松田 薫
		2診 予約外来	平山愛里彩 川上 理子	平山愛里彩 小林 里実	矢作 美奈 川上 理子	西山有希子 特殊治療/小林里実	第1.3.5 平山愛里彩 西山有希子	平山愛里彩
	午後	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子 掌蹠膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子 光線・学童/松田 薫	乾癬・掌蹠膿疱症・小児レ ーザー/小林里実 ピーリング/ 平山愛里彩 松田 薫	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子 乾癬・掌蹠膿疱症/ 小林里実	手術/ 小林里実 平山愛里彩 松田 薫	乾癬・掌蹠膿疱症/ 小林里実 光線・学童/平山愛里彩		

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス(12月25日)、年末年始(12月30日~1月3日)

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平日	9:00~16:00
	土曜日	9:00~12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

当院の情報については、聖母ニュースのほか、ホームページ・

ブログでもご覧いただけます。その時々のお知らせや出来事をお届け出来るよう、情報更新をしておりますので、是非一度、閲覧してみてください！ T.O



聖母病院ホームページQRコード

- 【聖母ニュース】 偶数月15日発行/受付・待合室に設置
- 【聖母病院ホームページ】 <https://www.seibokai.or.jp/>
- 【聖母病院ブログ】 <https://ameblo.jp/seibo-hp>